

私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2021年1月23日 No539
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F) 805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

核禁条約発効を祝い記念するつどい開く

岡山県原水協は1月22日岡山市勤労者福祉センターで核兵器禁止条約の発効を祝い、記念する集いを開きました。午後6時半からの集会には岡山県内各地から60名が参加しました。開会あいさつで伊原潔県原水協代表理事は「長い間進めてきた運動の成果が条約発効として実を結んだことをともに喜び、これから条約に背を向ける日本政府に批准を求める運動を進めましょう」と呼びかけました。

中島正智県事務局次長が基調報告。条約の内容と発効までの運動を報告しました。



「生きていてよかった」廣信被爆者会会長
加百さん「批准を求める幅広い署名運動を」

つどいでは県被爆者会廣信会長が被爆証言。「1歳4か月の時爆心地からおよそ2Kmの広島市内で被爆。肉親とのつらい別れや、差別、偏見を恐れ退職するまで被爆体験は封印してきた」と話され、条約が発効し「生きてきてよかった」これからも核兵器廃絶に向け引き続き運動したいと述べられました。加百智津子岡山「被爆2世・3世の会」代表は母親の被爆体験を引継ぎ核兵器廃絶運動を進めてきた、日本政府に禁止条約批准を求める幅広い運動をしたいと述べられました。母親の被爆体験を基にしたスリーピースの皆さんの朗読劇も参加者に感動を与えました。集会は最後に「集会アピール」を採択。鷲尾県原水協代表理事が閉会挨拶をしました。

写真左から開会挨拶する伊原代表。基調報告する中島県原水協次長、廣信被爆者会会長、県一・二・三世の会「加百代表、集会アピールを提案する金秋音（林病院）さん、開会挨拶する鷲尾代表の皆さん



私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2021年1月23日 No540
 原水爆禁止岡山県協議会
 700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
 TEL086-244-4526 (F) 805-6172
 kenmin@po5.oninet.ne.jp



核兵器禁止条約が発効した1月22日、岡山県内では8か所で条約発効を祝うスタンディングが取り组まれました。写真・右上から時計回りに、笠岡、児島、高梁、水島、玉浅、倉敷、岡山中区、岡山さんすて前です。(獅子頭は中区の行動に参加)

祝・核兵器禁止条約発効



岡山市・三門革新懇、美作・赤磐原水協は19日にスタンディングしました。



条約発効日にカンボジアが批准・52カ国目

核兵器禁止条約が発効した歴史的な日、1月22日新たにカンボジアが批准して52カ国目になりました。2017年7月7日に採択され、同年9月20日に調印(署名)・批准が始まった禁止条約。2020年10月24日に50カ国目ホンジュラスが批准し2021年1月22日に発効しました。

